

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

5日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の「できる」「自立」を目指し、地域に住むお子さん一人ひとりに合わせた支援を考え、療育の充実化を図ります。 ・お子様、保護者様、関係機関の皆様との繋がりを大切にします。専門職として日々、技術、知識を向上するように努力します。 					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様や保護者の主訴や困りごとに寄り添い、具体的な解決策を提示していきます。事業所内や、所属している集団場面でできる力を発揮するように支援を行います。 ・お子様を中心に関係する機関に対しても助言やアドバイスを行い、相互性を高めて関係性を強化していきます。 ・同法人のリハビリテーションと連携を図り、個別対応、集団療育の充実を目指します。 					
営業時間	8時	40分	16時	55分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ADLやセルフケア、身支度の自立を促す。 ・集団の流れに沿って行動することができ、丁寧に取り組む。 ・持参物の確認、次回の必要な物の確認ができる。食育やクッキングなど食事の大切さを促す。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動、微細運動、協調運動の実施する。 ・目と手の協応運動や運筆、道具の操作の向上を目指す。 ・リズム遊び、サーキットなど目的に応じた身体の使い方やルールのある遊びを経験する。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・数字やひらがななど学習の土台作りを行う。 ・言葉の理解、発語を促す、物の概念形成を高める。 ・「できた」「わかった」など達成感を感じて、課題の過程も楽しむ。困った時に援助要求を伝えられる。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・会話のやり取り、場面や状況の理解を促す。 ・発達段階に合わせて相手にわかりやすく説明する。 ・子ども同士のやり取りが増える（話し合い、クッキング）。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的なルールやマナーの学習を行う。 ・小集団で周囲と合わせて行動できるように促す。 ・集団場面を想定して個人の課題に合わせてプログラムを実施する。特性に合わせた環境整備を行う。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後の引継ぎや面談等を通じて、当事業所での様子をお伝えしながら、ご家庭での様子や対応に困っている点などを共有します。 ・連絡帳を利用して、送迎サービスを利用している保護者と連絡を取ります。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けた会議に参加する。 ・対象のお子さんについて事前に情報共有を図り、入学後のスムーズな支援へとつなげます。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方から様子を聞いたり、必要に応じて、関係機関と連絡を取ります。 ・担当者会議や幼稚園、学校訪問を実施します。 ・保育所等訪問支援を必要に応じて進めて、連携を強化します。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内外の研修会に参加する。 ・事例検討会開催、参加する。 ・法人内の研修、情報共有を実施する。 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、外出企画、保護者会を実施します。法人内他事業所との交流機会を作ります。 ・図書館、デパートへの作品展示会に出展します。 ・災害時や非常時の備えとして、避難訓練を実施します。 					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスはむれび(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年2月7日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和8年2月7日		令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種を配置しており、それぞれの専門性が発揮できている。	モニタリングやアセスメントを行い、それぞれの視点を取り入れながら療育プログラムを立案。	日々新しい活動を取り入れつつ、振り返りながら療育の充実化を図る。
2	医療法人が母体となり、虐待防止及び、身体拘束適正委員会、感染対策委員会など各種委員会を開催しており、都度確認が取れる環境がある。	委員会の前に事前に事案を提出をするなど円滑に動けるように対応している。	安全に運営ができていますが、維持、向上できるように意識を高めていく。
3	支援者会議や、訪問支援を利用して、生活の場の状況を把握するようにしている。	先生方とも密に連絡を取り合い、より良い視線を検討している。通所で練習が必要な課題などを取り入れて、集団場面に還元している。	困りごとや出来たことを把握するように情報を収集する。具体的な助言やアドバイスをできるように日々支援内容を振り返る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	感染対策を行い、イベントなどの実施を検討。	感染症に配慮しながら実施を検討。クリスマスやハロウィンなど近隣の施設との交流機会を持つことができた。
2	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	階段に手すりの設置をしているが、あえて滑らないように絨毯を設置しておらず、冷感など冬期は寒さを感じる。暖房機器を買い直し、空気の循環が良くなるよう対応。	暖房の風を循環できるように開放している。経年劣化もあり、暖房機器の買い直した。
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび(児童発達支援)					公表日	2026	年	3	月	16	日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点							
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		運動、学習、制作など活動毎に部屋を用意しています。							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	基本人員+法人スタッフを適宜配置しています。	外勤等で中のスタッフが少ない事が多いです。子どもの人数に対して少ないと感じることがあります。療育の充実に向けて増員が望ましいと思われれます。						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	トイレ(車いす用)、エレベーターを配置しています。							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日清掃をしています。モップ、玄関マットの交換をしています。	夏場は部屋によって暑いところがあります。						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		学習室など静かな環境を用意しています。							
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		モニタリングや法人スタッフとの会議を実施しています。							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者の意見を参考に改善できそうなことを取り入れています。							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎週会議を実施しています。							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	特に設置していませんが、法人内で相談しています。							
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		施設内外の研修を企画しています。本児で研修費補助の制度もあります。							
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		法人HPに掲載しています。							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		運動評価を年2回実施しています。							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員で話し合い、アセスメントを実施しています。							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		各スタッフで回覧し、確認しています。							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		各種発達検査を実施しています。							
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5領域に沿って計画しています。							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		会議の中で企画しています。							
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		年2回程度のサイクル化をしていますが、利用児に合わせて活動を変更しています。							

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別時間を作り、道具の操作、運動、コミュニケーション課題を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝のミーティングを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		振り返りの時間を作っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		その日のうちに記録の作成を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回以上を基本に実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者、担当者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		自立支援協議会に参加しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		会議や伝達場を作り、やり取りを行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		関係機関で集まり、引継ぎを行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		相談員が見学の機会があります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	法人内のデイサービスと交流があります。	地域の園と活動で関わることは少ないです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時にその日の振り返りをお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		相談に応じて関わり方を伝えています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時や変更時にお伝えしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ニーズの見直し、聞き取りを行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		面談を設けて意向を確認しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		申し出があれば面談、電話で対応しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	夏祭りなどイベント時に交流をしています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		都度、日程を決めて対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月通信の発行をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		毎年同意書の更新を行っています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		必要に応じて電話、メールの活用を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		法人デイサービスや、近隣のお店に出向き交流しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種年2回の研修があります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		各種年2回の研修があります。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		フェイスシートの更新を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		フェイスシートの更新を行い、保護者に確認を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年1回の更新で実施しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		年1回の更新で実施、周知をしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		法人安全管理委員会へ報告しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人安全管理委員会へ報告、研修の実施をしています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		法人安全管理委員会へ報告、研修の実施をしています。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび(児童発達支援)

公表日 令和8年3月16日

利用児童数 20人

回収数 15人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				遊んだり、運動する広いスペースがある と思います。十分広いと思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	十分だと思う。 実際に何人の児童に対して、職員が何院 配置されているのかわからない。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1	一人一人に配慮されていると思います。 展示等含めてわかりやすいです。活動に よって部屋が分かれていて良いと思 います。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15					
適 切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	15				子どもに合わせて、こんな取り組みをし たと報告を聞きます。苦手なところに気 付けて支援してくれています。しっかり と見てくれており、その日の様子や伸び ている所など教えてくれます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	15					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	14	1			子どものニーズに合わせて計画を立てて 頂いていると思います。子どものことを よく理解してくれていると思います。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1	子どものことをよく理解してくれている と思います。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	14			1	いつも様々な活動を工夫して行ってお り、たくさんの経験が出来ます。	
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと 活動する機会がありますか。	9		2	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	11		1	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていますか。	15				送迎時や幼稚園訪問の報告で子どもの事 を伝えてくれます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1	1	3	夏祭り等で保護者の参加する機会があり ます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14		1	ちょっとした事でも話を聞いて対応してくれています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13		2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13		2	避難訓練等は定期的に実施して頂いていると聞いています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9		6	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14		1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15			幼稚園を嫌がっても、療育は進んで行きたがります。安心して通所できている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15			療育に通えるのを前日から楽しみにしています。とても楽しみに利用の日を確認してくる。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15			子どもの事ととても考えてくれていると思います。とても満足している。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年2月7日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○従業者評価実施期間	令和8年2月7日		令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種が在籍しており、それぞれの視点を持ってアセスメントや療育が行えている。	各種研修に参加やモニタリングなど話し合う場を作り、日々研鑽している。	年間スケジュールを組み、各個人が学びやすい環境を整備する。
2	活動ごとに部屋を使用することができ、気持ちの切り替えがしやすい。	部屋ごとにレイアウトを変更して、活動に必要な物を配置している。	必要に応じて備品を買い直し、清潔に安全に使用できる物を準備する。
3	関係機関との連携会議など可能な限り参加している。	日程調整を柔軟に確保したり、電話連絡や紙面の情報提供を含め、対応している。	日頃より、関係機関と連絡を取り合い、情報を共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	夏祭りなど事業所内のみで、感染対策に留意しながら実施していたが、状況を見て案内を検討。土日の開所をしておらず、放課後等限られた時間となる。	体調に配慮しながら、開催規模を検討。部分的な参加や時間帯に考慮するなど検討。地域の商店など大人を中心とした地域の人たちとの交流機会を作る。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がある。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援をしている。	仕事をされている方が多く、長期休み利用児なども検討。写真などを掲示して振り返り時に報告。	掲示物や連絡手段を検討しながら発信していく。通信の発行など目に触れる機会を増やす。少人数規模で日々の困りごとなど共有、共感する場を設けていく。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている。	必要に応じて困りごとを聴取しながら、解決や対応方法を知る機会を作る。	冊子や情報をまとめて、事業所内で取り組んでいることを報告していく。個別に相談があるケースには時間調整して対応していく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび(放課後等デイサービス)				公表日	2026 年 3 月 16 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		運動、制作、学習と活動毎に部屋を用紙しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	基本人員+法人スタッフを適宜配置しています。	少ない場合があります。より療育を充実させるためには、増員が望ましいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	トイレ(車いす用)、エレベーターを設置しています。	死角が多いです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日清掃をしています。定期的にモップ、玄関マットの交換を行っています。	場所によっては夏場暑い部屋があります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		学習室など静かな環境を用意しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		モニタリングや法人スタッフとの会議を実施しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者の意見を参考に改善できそうなことを取り入れています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎週会議を実施しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	特に設置はしていませんが、法人内で相談はしています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		施設内外の研修を企画しています。法人で研修費補助の制度もあります。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		法人HPに掲載しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		適宜、評価を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員で話し合い、アセスメント実施しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		各スタッフで回覧し、確認を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		各種、発達検査を実施しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5領域に沿って計画しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		会議の中で企画をしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日常生活や学校生活につながるよう工夫を凝らしています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別の時間を作り、学習やコミュニケーション課題を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝のミーティングを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		振り返りの時間を作っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		その日のうちに記録を作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に1回以上を基本に実施しています	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			地域交流は少ないです。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		本人、家族、関係機関に分けて考えています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者、担当者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		自立支援協議会へ参加しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		自立通所支援加算など送迎時に学校へ連絡してから実施しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		会議などで情報共有をするなど、直接お話できる機会があります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		法人内の別事業所へ引継ぎを実施しています。情報提供書を作成しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		相談員が見学の機会があります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	公園へ遊びに行くことがあります。法人内の別事業所と交流があります。	ほとんどないです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時にその日の振り返りをお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	オンラインセミナーを実施しています。相談に応じて関わり方を伝えています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時や変更時にお伝えをしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		二一ズの見直し、聞き取りを行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		面談を設けて意向を確認しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		申し出があれば、面談や電話で対応をしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	夏祭りなどイベント時に交流をしています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		法人への報告や相談を行って対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月通信を発行、HPに記載をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		毎年同意書の更新を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		必要に応じて、電話やメールで対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を回っているか。	5	1	法人デイサービスや近隣のお店に出向いて交流を行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種、年2回の研修があります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		各種、年2回の研修があります。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		フェイスシートの更新を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		フェイスシートの更新を行い、保護者に確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		年1回の更新で実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		年1回の更新で実施、周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		法人安全管理委員会へ報告しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人安全管理委員会へ報告、研修の実施をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		法人安全管理委員会へ報告、研修の実施をしています。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび(放課後等デイサービス)

公表日 年月日 令和8年 3月 16日

利用児童数 31人

回収数 18人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				3	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	1	7		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2			3	定期的にお話をする機会を設けてくれています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1				定期的にお話をする機会を設けてくれています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					定期的にお話をする機会を設けてくれています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	2	4		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16			2	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1		5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	3		6	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	2			行くと楽しんで帰ってきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスはもれ(保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年2月7日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和8年2月7日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月7日		～ 令和8年3月6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	20件	(回答数) 9件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職を配置しており、ニーズに合わせた支援を提供することができている。	具体的な助言や関わり方を示し、お子さんが生活を送る中で過ごしやすい環境を目指し、取り組んでいる。	先方の支援者にわかりやすい説明や、保護者を含め、支援に携わっている人が誰でも実践できる内容を目指す。
2	訪問先に合わせた環境整備を実施している。	座面クッションや筆記具などハード面や、姿勢管理や声の掛け方などソフト面の対応などお子さんに合わせて提供している。	研修会など日々、学ぶ機会を作り、より良い支援を目指す。
3	直接会うことが難しい保護者に対して、電話連絡や紙面のやり取りなどご家庭の状況に合わせて対応している。	アポイントと取るように連絡を取り合い、日程を調整している。リハビリ時間などを利用し、可能な限り直接会う機会を確保している。	ICT機器の利用も検討し、相談の窓口を広げる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんの状態や、訪問先の状況に合わせて頻度を検討しているが、十分に支援が行き渡っていないケースがある。	訪問支援員の人数や、技術、知識が不足しているため、実施できる職員が限られている。	事業所内外の研修の参加や、見学、模倣等学ぶ機会を作り、技術の習得を目指す。
2	関係機関との連携が十分に図れていないケースがある。	各機関の時間の調整の難しさもあり、直接会う以外にも電話や、メールなどツールを使用しているが十分ではない。	相談支援員を交えながら、都度担当者会議の開催の調整や、日頃より、連絡を取る意識を高める。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

令和 8年 3 月 16

公表日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび(保育所等訪問支援)

利用児童数 20名

回収数 14名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4			10		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	10	1	1	2		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13	1			されています。	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13	1			されています。	
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	12		1	1	そう思います。	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	14				苦手なところに気付けて支援してくれていると思えます。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	13	1			苦手なところに気付けて支援してくれていると思えます。計画は子どもの事を良く理解して作成して頂いています。	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	12		1	1	幼稚園の先生の意見も取り入れて頂いています。苦手なところに気付けて支援してくれていると思えます。	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	13			1	されています。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	14				されています。	
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	14				されています。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1		1	契約の時に説明がありました。	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	1		1	説明がありました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8		3	3	行われています。	
	15 必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思えますか。	14				行われています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	1		定期的に面談して頂いたり、送迎の時に助言を頂いています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	13	1			いつも温かい言葉を頂きます。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			1	出ています。	
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	12	2			連絡帳みたいなものを活用して、様子を教えてくれてもよいかと思う時がある。後で振り返る事もできるので。		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	12				2	担任の先生と情報共有し、対応してくれています。幼稚園とどのようなやり取りを行っているのがわからない。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	13			1	行われています。 幼稚園とどのようなやり取りを行っているのかわからない。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	13				訪問を行った後は、書面で説明して頂いています。	
非常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			4	行われています。	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1			行われています。	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	10			4	行われています。	
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			2	行われています。	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	13		1		訪問してくれた日は一緒に遊んだことを話してくれます。 幼稚園に先生が行った時、笑顔で迎えてくれていると聞いています。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	13	1			とても満足しています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和 8 年 3 月 16 日

児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび

利用児童数

20 名 回収数 9件

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9			子どもの困っているところや成長について共有をできてよかったです。いつも丁寧にアドバイスしてくださり、助かっています。暖かく包容力のある支援だと感じています。具体的にわかりやすく、訪問後から取り入れられる事がほとんどで、すぐに実践している部分が多いです。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9			教育とは別の視点から専門性の高い助言に助けられています。保護者の思いを伝えてくださり、感謝しています。自分たちだけの視点では気付けない部分もあり、新たな面での気付きもある、利用している子の特徴をよく理解し、的確に支援して頂いています。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	8	1		こちらの悩みを聞いてくださり、適切な支援内容や方法等について教えて頂いています。細かな部分も丁寧に回答してくれる印象があります。毎回カンファレンスで情報共有の時間を頂けてわかりやすい回答やアドバイスに助かっています。ご本人が知恵を絞ってその場を速くようになり、普段の様子を見ることが出来なかった。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	1		かなり解消されました。聞きやすい雰囲気があり、こちらの細かな疑問にも1つずつ丁寧に答えられている印象です。情報を交換し、共有することで対応の仕方に変化を持たせることが出来ました。実際の困ったところを見ることができていません。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	8	1		満足している。今後も連携を願われたらと思っている。療育で何のスキルを高めているのか、どんなことをしているのかもっと知りたかったです。	
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
定期的な訪問支援に加え、急なこちらからの相談にも時間を作ってくださり、対応して頂いています。訪問支援の際に具体的な説明を頂き、ありがとうございました。心配な部分や困っている事、こんな支援がしたいがどうアプローチしていくべきかが聞きやすく、伝えやすい雰囲気があります。訪問支援後は、渡すのがすっきりする部分も多くあり、感謝の気持ちでいっぱいです。今後もぜひ連携を取り、より良い環境で子ども達への支援を協力していきたいです。訪問支援の際に、本人の察知能力が動き、普段の様子をお見せできないことが一番の悩みでした。	訪問先で実践的に取り組める内容を助言する。効果検証など定期的に聞き取りつつ、ご本人や家族、環境面なども含めた支援を心掛ける。				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスはもれび		公表日		2026 年 3 月 16 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 制 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		座面クッション、食具、筆記用具を用意しています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		事業所+法人スタッフを配置しています。実施頻度をより充実させるには増員が望ましいと思われます。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		モニタリングを実施しています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		舞等1回アンケートを行い、改善箇所があれば対応しています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		会議の中で伝えあっています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		北海道作業療法士会の研修に参加しています。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		個別放火時間を作り、対応しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		各担当者が実施しています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問先の意向の聞き取りをしています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		回覧し、確認をしています。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		発達検査を実施しています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		各個人で課題を明確化し、検討しています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		担当スタッフが中心となり、相談しながら進めています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		スケジュールや内容を確認しています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		記録の確認、報告をしています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先のスタイルに合わせて実施しています。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		次回の方針を決めています。			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		面談、電話等で相談しています。 直接訪問先の先生方と、対象の子の状況や様子についてお話をお話をさせて頂いていま			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		管理者が参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		会議や研修会で顔を合わせています。校内研修に参加するなど、連携を図っています。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		関係機関で集まり、引継ぎを行っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		研修や他機関と相談しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3		子ども支援部会に参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		実施前後でお伝えしています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		相談をしたり、情報をお伝えしています。オンラインセミナーを実施しています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		初回時に事業説明を行っています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		ニーズを聞き取っています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		面談で同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		電話、面談で対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3		訪問のみの子は実施出来ないが、通所併用の子には案内をしています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		日程調整をして実施しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		毎月通信を発行しています。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		同意書の更新をしています。また、ホームページに写真を乗せていません。		
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3		電話や直接相談を行っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		時間を作って共有しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		電話や紙面で報告しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3		情報共有アンケートを活用しています。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		マニュアル研修を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		マニュアル研修を実施しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		マニュアル研修を実施しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		マニュアル研修を実施しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		マニュアル研修を実施しています。	

事業所名

多機能型発達支援 そらぼし

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

25日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の「自立」、「自律」を目指し、地域に住むお子さん一人ひとりに合わせた支援を考え、療育の充実化を図ります。 ・お子様、保護者様、関係機関の皆様との繋がりを大切にします。専門職として日々、技術、知識を向上するように努力します。 					
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様や保護者の主訴や困りごとに寄り添い、具体的な解決策を提示していきます。事業所内や、所属している集団場面でできる力を発揮するように支援を行います。 ・お子様を中心に関係する機関に対しても助言やアドバイスを行い、相互性を高めて関係性を強化していきます。 ・就労等を見越した支援を行い、より組織的な社会への適応を目指していきます。 					
営業時間	9時	15分	17時	15分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ADLやセルフケア、身支度の自立を促す。 ・生活リズムや睡眠リズムの整えを促していく。安定した登校を目指す。 ・持参物や必要な物の確認、管理ができる。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動、微細運動、協調運動を実施する。 ・散歩等を通して、身体リズムの整えや、季節感を感じられるよう促していく。 ・軽運動を通してストレスの発散を目指す。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己覚知」を促したり、「自己分析」を行ったり、「自己」と将来への展望イメージし、結びつけていく。 ・「自己選択」、「自己決定」、「自己調整」する力を身に付けていく。 ・学年や認知発達に応じた基礎学力支援を行う。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・会話のやり取り、場面や状況の理解を促す。 ・発達段階に合わせて相手にわかりやすく説明する。 ・子ども同士のやり取りが増える。議論をしながら、様々な意見や思想に気付いていく。(ディベート、クッキング)。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的なルールやマナーの学習を行う。 ・「自立」、「自律」を促していく。 ・集団場面を想定して個人の課題に合わせてプログラムを実施する。特性に合わせた環境整備を行う。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後の引継ぎや面談等を通じて、当事業所での様子をお伝えしながら、ご家庭での様子や対応に困っている点などを共有します。 ・連絡帳を利用して、送迎サービスを利用している保護者と連絡を取ります。 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けた関係者会議に参加する。 ・対象のお子さんについて事前に情報共有を図り、入学後のスムーズな支援へとつなげていく。 ・学校との連携を図り、就労先の情報を得ていく。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方から様子を聞いたり、必要に応じて、関係機関と連絡を取ります。担当者会議や幼稚園、学校訪問を実施します。 ・保育所等訪問支援を必要に応じて進めて、連携を強化します。 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内外の研修会に参加する。 ・事例検討会開催、参加する。 ・法人内の研修、情報共有を実施する。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、クリスマス会、外出企画、保護者茶話会、保護者参加日を実施します。 ・映画観賞会、クッキング、買い物学習など日常生活とリンクさせた活動（行事）を展開していきます。 					

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型発達支援 そらぼし (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		令和8年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数) 3人	
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数) 5人	
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動部屋は個室化しており、プレイルームと分ける事で、構造化を行っている。	活動場所の構造化、スケジュール化を行い、見通しを持って安心して活動できる環境設定を行っている。 スケジュールカード、スケジュールボードの使用。	個別認知活動の内容の充実化
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合ったり、実際の療育場面を参観してもらったりし、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	保護者に活動に同席してもらい、活動や関わりのお伝えしたり、ご家庭で取り組めそうな関わりのお話をしている。	ペアトレやカウンセリングなど保護者様への直接的な支援の実施。 実際の関わりや遊び方を提示する。 ご家庭で使用出来るような視覚支援アイテムを作ったり、提示したりしていく。
3	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応している。	小さいことでも話を聞き、その時の対応などアドバイスを実施。定期的に面談を行い、保護者の意見を聞いている。	面談日を調整しながら、細かな困り感を共有していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている。	遠方からの来所による支援が多く、交流の機会を持つことが難しい。	頻度の調整や休日を利用したイベントなどの企画をしていく。
2	事業所の活動プログラムが固定されないよう工夫している。	内容は多岐に渡っているが、個別担当制の為、担当スタッフが中心となって思案しがちである。	カンファレンスの充実化や複数担当制などを検討し、情報の共有を図っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型発達支援 そらぼし

公表日 令和 8 年 3 月 27日

利用児童数 8人

回収数 3人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3			こどものペースに合わせて、活動のスペースを確保してくれています。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3			マンツーマンでいつもペースに寄り添ってくれています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3			居心地のよい空間だと思います。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3			特性について毎回、親身に話を聞いてくれ、短時間で子どものことを分かってくれているなと思います。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1	幼稚園との連携もあり、支援会議にも参加してくれています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	3				毎回の面談で日々の相談が来ています。 療育の様子で前回からの成長が見られています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				毎回、ごまっている事を聞いてもらっています。アドバイスをもらえて心強いです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				共感的に丁寧に関わって頂いているなあと感じています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			1	姉妹で見られています。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				個別の対応をしてくれている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				毎月の通信で活動内容がよくわかります。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				人見知り、場所見知りですが、配慮して頂いて、安心して通っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				「そろほしたのしみ♪」と言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				とても満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型発達支援 そらぼし					公表日	2026 年 3 月 27 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個室が3つとプレイルームがあり、十分なスペースがあります。	複数人同時利用となった場合の部屋の割り振りや構造化を明確にしていきます。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準人員+2名 専門職を配置して運営しています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		個室や幼児用のトイレを用意しています。必要に応じてパーテーション等で区切りを設けています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除を実施しています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの状況に応じて、個室を活用しています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		事業所内での定期的なカンファレンスと、法人管理職との面談を行っています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価結果を受けて改善に心がけています。	面談にてご意見やご意向なども確認していきます。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎週、定期的な会議を実施しています。定期的な管理者との面談を行っています				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	札幌市自閉症発達支援センターおがるの機関支援を受けています。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		年間スケジュールに沿って、事業所内研修を実施しています。各職員が受けた研修を共有しています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		公表済みです。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		必要に応じて発達検査、言語評価などを実施実施しています。	全ケースには実施出来ていません。職員間でのアセスメント能力の差が見られます。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当スタッフのアセスメントと全スタッフによるカンファレンスを実施しています。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員内で原案を回覧し、修正しています。定期的なモニタリングを実施しています。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		心理検査、言語検査等を実施しています。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		会議内で話し合いを行っています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		スモールステップを意識した構成を行っています。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		保護者様同席のもと、完全個別で実施しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼で一日の流れを共有しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		定期的な活動や関わり方の振り返りを行っています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		活動記録、面談記録をとり、回覧にて共有しています。	業務内で終了しないこともあります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年1回、年2回実施しています。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者、児発管が出席しています。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		子ども支援部会に参加しています。相談支援センターとの連絡を密に行っています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		幼稚園、保育園に訪問し、情報共有を行っています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		発達支援センターや相談室を通して、会議や情報の共有を図っています。		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		他児との関わりに負荷がかかるケースを対象としている為、事業所内での個別支援としています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			療育に同席してもらったり、振り返りや面談時にお伝えしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			保護者参観日や茶話会を開催しました。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	契約時、事業内に掲示しています。	変更時の説明や体制などの変更を今後、丁寧にお伝えしていきます。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			年1回二一スの見直し、保護者様からの聞き取りを行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			面談時に原案を提示し、説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			活動の振り返り時や面談時に実施しています。知識の向上、伝え方の工夫を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		姉妹、兄弟での受け入れを行っています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		適宜面談を設定し、相談員に報告しています。 メールでの対応も実施しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回の通信の発行、HPへの掲載を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個室での面談、鍵付きの書庫にて書類を管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		タブレットを使用し、動画などの視覚的な媒体を利用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		開設記念パーティーを開催し、地域の方も招待しました。 参観日を開催しました。	今後もイベントを企画していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		年1回実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		机上、実践を年に1回ずつ実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		フェイスシートを更新しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		フェイスシートを更新し、保護者様に確認をしています。	食材の成分表を保護者様に、都度確認を徹底しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		イベント時には事前にお伝えしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		インシデント報告で共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		研修会に参加しています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		5	対象ケースがいなく実施していません。	必要に応じて関係機関との連携を図ったり、相談を行っています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型発達支援 そらぼし (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切にしている。	個室が3部屋あり、活動のごとに部屋を分けて使用している。クールダウンなどお子さんの状態に合わせて利用している。個別療育、集団療育と状況に合わせたサービスの提供が出来ている。	構造化とスケジュールを合わせた展開を実施していく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がある。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援をしている。	保護者参観日や茶話会を実施した。これまでの活動や様子の写真を一覧にし、展覧会を開催した。	今後は地域住民も交えた活動を考えていきたい。
3	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられる。	公認心理師3名を配置し、進学、就労を控えた思春期のお子さんへの支援を展開している。「心理教育」をテーマにした活動を展開している。	ソーシャルスキルトレーニングや認知行動療法などといったより専門的、実践的な取り組みを目指していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がある。	通常級在籍や地域の習い事、児童クラブ等と並行利用している児も多いため、通所の際には安心・安全に過ごせるようあえて交流の場を設けていない。(特性への配慮)	状況やニーズに応じて対応していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型発達支援 そらぼし

公表日 年月日 令和8年 3月 27日

利用児童数 35人

回収数 9人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5				4	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	8				1	一人っ子なので、兄弟支援については分かりません。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			5	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				いつも楽しく通っています。毎回色々なことをさせてもらって嬉しいです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				いつも子どもの居場所をつくっていただきありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				いつもありがとうございます。やすらぎの場所となっています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型発達支援 そらぼし				公表日	2026 年 3 月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個室が3つとブレイルームがあり、十分なスペースがあります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基準人員+2名 専門職を配置して運営しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		個室を用意し、必要に応じてパーテーション等で区切りを設けています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日掃除を実施しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子どもの状況に応じて、個室を活用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		事業所内での定期的なカンファレンスと、法人管理職との面談を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価結果を受けて改善に心がけています。面談内にてご意見やご意向を確認しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎週、定期的な会議を実施しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		札幌市自閉症発達支援センターおがの機関支援を受けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内研修は年間スケジュールを立てて、持ち回りで実施しています。スタッフが受けて研修を共有しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表済みです。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		必要に応じて知能検査（WISC、K-ABCⅡ）などを実施しています。	全ケースには実施出来ていません。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		担当スタッフのアセスメントと全スタッフによるカンファレンスを実施しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員内で原案を回覧し、修正しています。定期的なモニタリングを実施しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	心理検査、言語検査等を実施しています。	フォーマルな評価は全ケースには実施出来ていません。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		会議内で話し合いを行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		週毎にスモールステップを意識した構成を行っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		学年や特性に応じて個別-小集団を分けて実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼で一日の流れを共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		定期的な活動や関わり方の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		活動記録、面談記録をとり、回覧にて共有しています。	業務内で終了しないこともあります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年1回、年2回実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		学習-暮らし-仕事-余暇とスケジュールを決めて実施しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		各活動において、「自己選択」「自己決定」「自己調整」「自己表出」を促す関わりをしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管、担当者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		支援者会議への参加や保育所等訪問支援を実施しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎サービスは実施していません。同法人事業所からの移行時には情報共有、引継ぎを実施しています。	学校、担任の先生への連絡を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		対象ケースはまだなく実施していません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	発達支援センターとの連携は取っています。地域支援のスーパーバイザーはいません。札幌市自閉症支援センターや大学と連携しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	利用児の特性に配慮し、積極的には交流は実施していません。自立支援部会（子ども部会）、児童デイの連絡協議会に参加しています。	ニーズを調査し、今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		療育に同席してもらったり、振り返りや面談時にお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		保護者学習会、茶話会、参観日を実施しました。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時、面談にお伝えし、事業所内に掲示しています。	変更時の説明や体制などの変更を今後、丁寧にお伝えしていきます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		必要に応じてご本人との面談を実施しています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		年1回ニーズの見直し、保護者様からの聞き取りを行っています。面談時に原案を提示し、説明を行っています。		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		活動の振り返り時や面談時に実施しています。	知識の向上、伝え方の工夫を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者学習会、茶話会、参観日を実施しました。	今後も企画、実行をしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情解決マニュアルを制定しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月1回の通信の発行、HPへの掲載を行っています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個室での面談、鍵付きの書庫にて書類を管理しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		タブレットを使用し、動画などの視覚的な媒体を利用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	積極的には行っていませんが、地域の商店や郵便局などへの買い物やお使いなどを行っています。	今後もイベントを企画していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		年1回実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを作成し、研修に2度参加しました。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		フェイスシートを更新しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		フェイスシートを更新しています。おやつやクッキングの材料を保護者様に確認してもらっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		マニュアルを作成し、職員間で共有しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		イベント時には事前にお伝えしています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		インシデント報告、ヒヤリハット報告で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		事業所内での研修や事業所外での研修に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		対象ケースがいなく具体的には実施していません。	必要に応じて関係機関との連携を図ったり、相談を行っています。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型発達支援 そらぼし

公表日 令和 8年 3 月 27 日

利用児童数 68名

回収数 27名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	14			13		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	19			8		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	27					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	27					
適切な 支援 の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	23	3		1	職員が疲弊しない様、人数はもっと居ても良いのではないかと思います。	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27				どれもわかりやすい文章で内容を伝えてくれます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22			5		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	21	1		5		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	1		3		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	27					
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23			4		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	2		3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	18			9	27	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	25	1		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27				困り事に対して共感をしてくれつつ、的確なアドバイスもしてくれるので助かります。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27				毎回、訪問前後に電話連絡して頂き、丁寧な説明、相談にもって頂き大変感謝しています。ありがとうございます。	
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	25			1	いつも丁寧に見てくれて感謝しています。		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	24			3	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	27	1		3	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			5	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	21			8	
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			8	
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	26	1			学校での様子が詳しくしくて、感謝しています。 先生に会えると喜んでいます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	27				毎年お世話になっております。いつもありがとうございます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和 8 年 3 月 27 日				
多機能型発達支援 そらぼし		利用児童数 68名 回収数 10件				
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	10			・いつもの確なご意見、助言をいただいていたいました。 ・いつもわかりやすく説明していただき感謝しています。 ・対応について事例をあげながら説明していただけるのでとてもわかりやすいです。		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	10			・いつも勉強になっています。 ・教育的でありながらも、医療からの専門的な支援で大変満足しています。 ・児童の特性やその日の状態を踏まえた言葉掛けや対応を見せていただき、大変勉強になりました。		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	10			・保育の悩みに対するご指導を丁寧にしていただきました。 ・訪問のたび、「目からウロコ」ぐらいの気づきをいただいています。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10			・アドバイスの援助を試すことで、園児の変容の姿につながっています。 ・実行しやすい改善策などを教えていただきまして、ありがとうございました。 ・医療的な視点でのアドバイスがとても参考になっています。		
5 事業所からの支援に満足していますか。	10			・学期に1回毎、定期的に支援を受けられることがありがたいです。 ・ご指導に感謝しています。ありがとうございます。		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも子ども達の様子を丁寧に下さり、ありがとうございます。状況を共有しながら進められるので、非常に助かっています。今後もよろしくお願いいたします。 ・今年度もありがとうございました。 ・いつもありがとうございます。次年度もよろしくお願いいたします。 ・定期的な訪問が効果的だと感じています。ありがとうございます。 ・1年3回の訪問を2回に出来ませんか？検討してください。 ・いつもバタバタしてしまい、情報交換の時間が少なくなってしまう、申し訳ありません。 ・この事業は、保護者の考えを知る機会にもなり、とても貴重です。また、保護者に伝達する際に、幼稚園側の意向も汲んで伝えていただいているので、連携のためには大変ありがたいです。 				<ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度、訪問回数については、保護者様と相談の上、検討し決定していきます。 		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型発達支援 そらぼし（保育所等訪問支援）					公表日	2026 年 3 月 27 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点			
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		評価の為、検査器具などを持参しています。				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	法人内スタッフを2名配置しています。	利用者が増えており、ニーズへの対応の為、増員が望ましいと思われます。			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	事業所、法人スタッフで話し合いをしています。				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		実施しています。				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		療育記録の共有にて情報交換をしています。	定期的なカンファレンスの実施が望ましいです			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		札幌市自閉症支援センターおがるの機関支援を受けています。				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		法人内、事業所内での研修を実施しています。				
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3						
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3						
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問後、面談を実施しています。				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3						
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1	必要に応じて個別の評価、検査を実施しています。				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3						
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3						
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	児発管と担当者で確認をしています。				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	児発管と担当者で確認、報告をしています。				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		先方に合わせて直接的支援の程度を変更しています。				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3							
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	1	半年に1回程度実施しています。					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		児発管が中心となり、必要に応じて担当者が参加しています。		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		相談支援センター、地域の保健師さんと連携しています。		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		訪問の引き継ぎを行い、情報の共有を行っています。		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	1			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	1		通所支援グループ、不登校・引きこもりグループに参加しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			電話連絡、郵送にて連絡し、必要に応じて家庭訪問なども実施しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3				
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			契約時に説明しています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			初めての訪問先には事前に説明しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。					
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			面談、電話にて説明しています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3			今後、検討をしていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			都度連絡を行い、実施しています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			通信、法人HPに掲載しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	1		電話、FAX、メールで対応しています。事前アンケートを実施し、ニーズの把握に努めています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			訪問後、面談を実施しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			電話、紙面にて報告しています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3				

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		マニュアルを作成しています。 年1回の訓練を実施しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		インシデント用紙で事業所、法人に報告、安全管理委員会に提出しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		マニュアルを作成、研修へ参加しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		3	対象ケースがない為、実施していません。	対象ケースがある場合は、関係機関と協議したり、助言をいただきながら対応します、